

2012年2月期 第2四半期

決算説明資料

2011年3月～2011年8月



株式会社 エスケイジャパン

代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

グループ事業内容

会社名	主な事業内容	セグメント
 <p>株式会社 エスケイジャパン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アミューズメント部門 ・SP(セールスプロモーション)部門 ・EC(インターネットショッピング)部門 	<p>キャラクター エンタテイン メント事業</p>
 <p>株式会社 サンエス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィレッジヴァンガード、ドン・キホーテ、 キデイランド等へのキャラクターグッズ販売 	<p>キャラクター・ ファンシー事業</p>
 <p>株式会社 ケー・ディー・システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターグッズの企画開発・販売 グループのメーカー部門として展開 (エスケイジャパン・サンエスへの売上は全体の約60%) 	<p>キャラクター・ ファンシー事業</p>
 <p>株式会社 ナカヌキヤ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」による小売販売 心齋橋店 広島本通り店 松山銀天街店 つかしん店 広島ASSE店 	<p>リテイル事業</p>
 <p>SKJ USA, INC.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカでのキャラクターグッズ販売 ・アメリカのキャラクター発掘と日本への情報提供 (10年8月よりスタート) 	<p>キャラクター エンタテイン メント事業</p>

業績報告

業績ハイライト(当四半期／前四半期) - 3~8月 -

(単位: 百万円)

	前四半期	当四半期	増 減	増減率
売上高	4,879	4,299	△580	△11.9%
▶ AM部門とSP部門の不振により減収となる				
営業利益	230	87	△143	△62.2%
▶ 販管費は前期比△30百万円に抑えたものの減収により減益となる				
▶ 売上総利益率は前期比0.4ポイントダウン				
経常利益	229	81	△147	△64.3%
▶ 営業外損益は前期比△3百万円				
四半期純利益	85	50	△35	△41.3%
▶ 特別損益は前期比+100百万円(前期は商品不良損失102百万円計上)				

四半期業績ハイライト(当四半期／前四半期)

(単位:百万円、%)

	第1四半期(3～5月)			第2四半期(6～8月)		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
売上高	2,292	1,946	84.9	2,587	2,353	90.9
営業利益	127	△23	—	101	110	109.0
経常利益	129	△28	—	96	109	113.3
四半期純利益	15	△44	—	70	94	135.3

【売上高】

- ▶ 第2四半期(6～8月)は前期比90.9%だったが、第1四半期(3～5月)比では120.9%と復調基調に

【経常利益】

- ▶ 第2四半期(6～8月)は前期比113.3%、第1四半期(3～5月)の△28百万円から138百万円の改善

主な業績増減要因(当四半期／前四半期)

キャラクターエンタテインメント事業

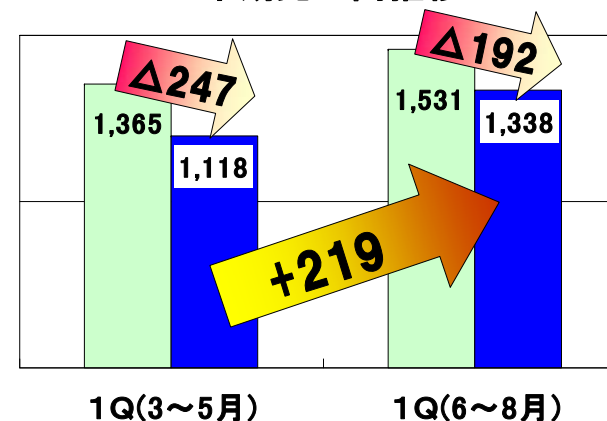
(単位:百万円)

	前四半期	当四半期	増減	増減率
売上高	2,897	2,457	△439	△15.2%
AM部門	2,090	1,914	△175	△8.4%
SP部門	785	491	△294	△37.5%
EC部門	21	51	30	143.3%
営業利益	120	2	△118	△97.9%

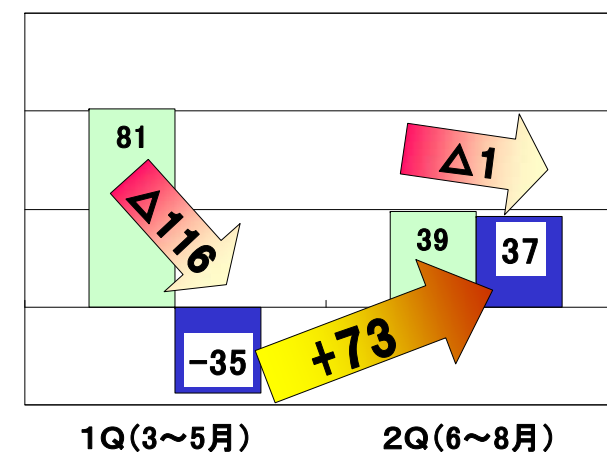
- AM部門** 前期ヒットした「スージー・ズー」の反動 △353百万円
 自社企画キャラクターの売上高の減少 △141百万円
 (まるねこ、でぶねこ、SweetBear)
- SP部門** 食品メーカー向け売上高の減少 △118百万円
 出版会社向け売上高の減少 △64百万円
+18百万円
- EC部門** フィギュアの売上高の増加

■ 前四半期 ■ 当四半期

四半期売上高推移



四半期営業利益推移



主な業績増減要因(当四半期／前四半期)

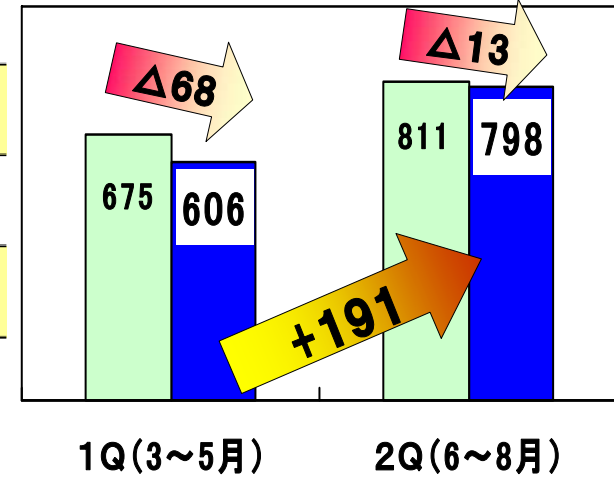
キャラクター・ファンシー事業

(単位:百万円)

	前四半期	当四半期	増減	増減率
売上高	1,487	1,405	△82	△5.5%
営業利益	98	90	△7	△7.3%

■ 前四半期 ■ 当四半期

四半期売上高推移



・ウサビッチ商品の売上高の減少

△132百万円

当四半期実績 44百万円
前四半期実績 177百万円

・ワンピース商品の売上高の減少

△82百万円

当四半期実績 532百万円
前四半期実績 615百万円

・モンスターハンター商品の売上高の増加

+101百万円

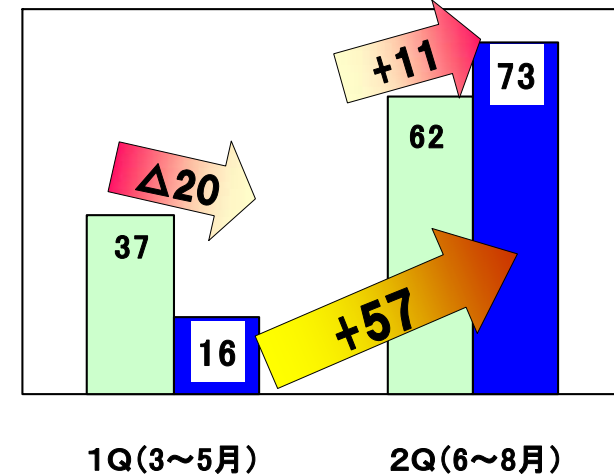
当四半期実績 104百万円
前四半期実績 3百万円

・省エネグッズの売上高の増加

+32百万円

当四半期実績 35百万円
前四半期実績 2百万円

四半期営業利益推移



主な業績増減要因(当四半期／前四半期)

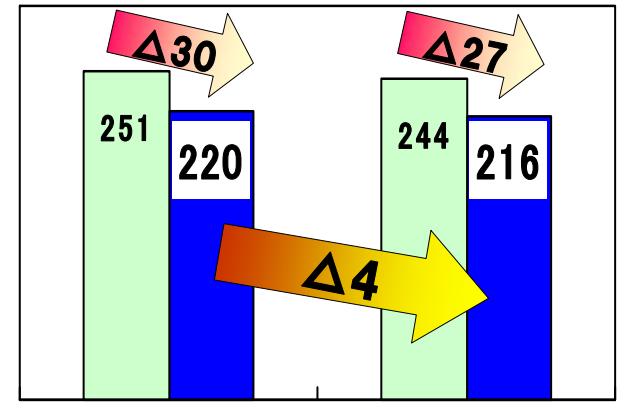
リテイル事業

(単位: 百万円)

	前四半期	当四半期	増減	増減率
売上高	495	437	△58	△11.7%
営業利益	3	△12	—	—

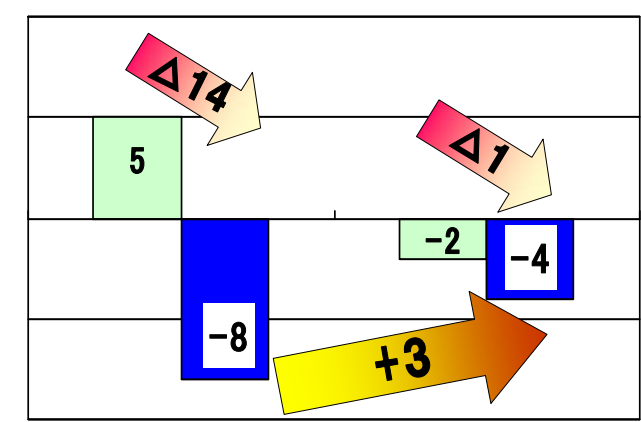
前四半期 当四半期

四半期売上高推移



1Q(3~5月) 2Q(6~8月)

四半期営業利益推移



1Q(3~5月) 2Q(6~8月)

・「ナカヌキヤ」3店舗の売上高の減少 △84百万円

- 心齋橋店 120百万円(前期比△35.5%)
- 広島本通り店 209百万円(前期比△6.7%)
- 松山銀天街店 62百万円(前期比△5.0%)

・「SALAD BOWL」の売上高の増加 +26百万円

- 当四半期実績 44百万円(3店舗)
- 前四半期実績 18百万円(3店舗)

トピックス

ライセンス部門

- ・「ピンクパンサー×チャッツX」に様々な業種の企業から注目が集まる
 - ▶ かばんメーカー、アパレルメーカー、携帯アクセサリメーカー
ぬいぐるみメーカー、モバイルコンテンツ配信企業等
- ・今後も様々なキャラクターにチャレンジし、この部門を成長の柱として取り組む計画

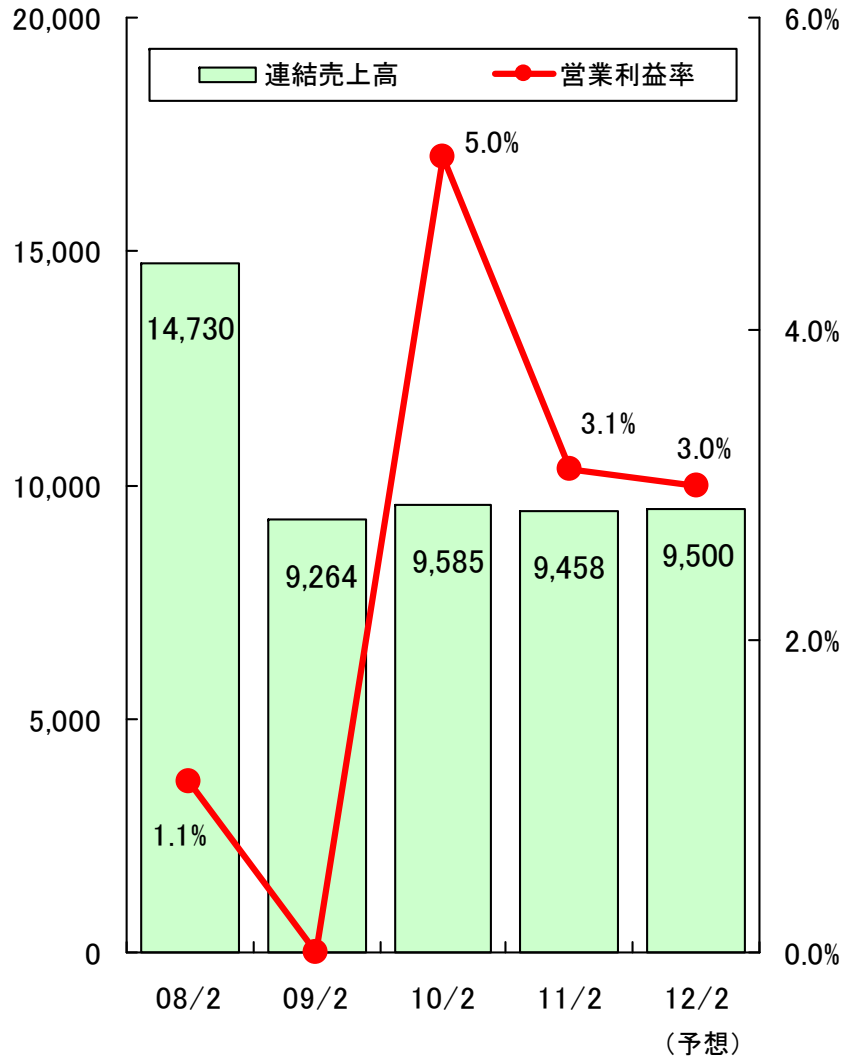
SKJ USA

- ・現地企業より、ピンクパンサーのぬいぐるみ・エアドールを受注

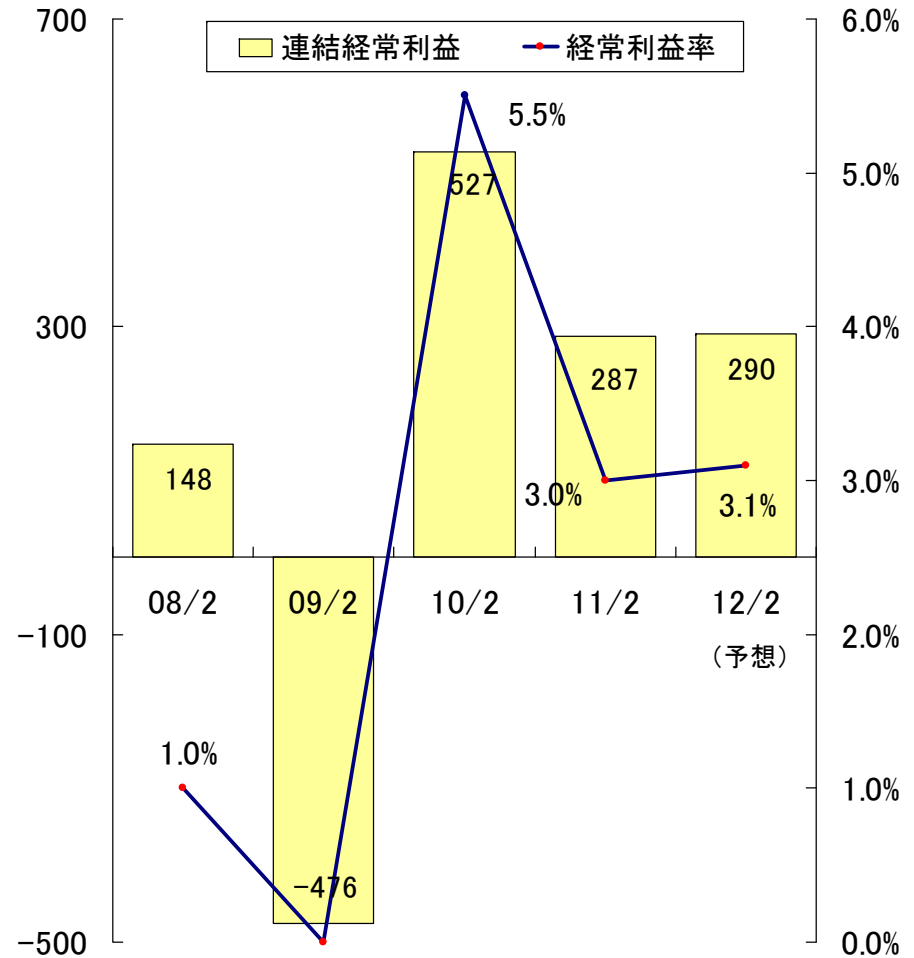
損益推移

(単位:百万円)

連結売上高・営業利益率の推移



連結経常利益・経常利益率の推移



株主還元

当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。

	2002/3	2003/3	2004/3	2005/3	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2	2011/2	2012/2 (予想)
株式分割	—	1:1.3	1:1.2	1:1.3 1:1.1	—	—	—	—	—	—	—
配当金	13円	16円	17円	20円	14円	14円	12円	9円	14円	12円	12円
	記念 配当1円	記念 配当4円	記念 配当5円	記念 配当8円	記念 配当2円	特別 配当2円			記念 配当2円		
増配	大証2部 上場記念	東証2部 上場記念	(※) 阪神 タイガース 優勝に伴う 好業績 に対して	東証 大証 1部上場 記念 創立15周 年記念	(※) 阪神タイ ガース 優勝	当初の 計画を 上回る 好業績 達成			創立20 周年記念		

(※)SKグループは阪神タイガースグッズを企画販売し、また阪神タイガースオフィシャルショップをナカヌキヤ広島本通り店で展開しており、グッズの企画販売を通して阪神タイガースを応援してきたことによります。

通期業績予想(当期予想／前期実績)

連結業績予想

2012年2月期

2011年2月期

(単位:百万円)

	前期実績 (2011年2月期)	当期予想 (2012年2月期)	予想増減額	予想増減率
売上高	9,458	9,500	41	0.4%
営業利益	286	288	1	0.4%
経常利益	287	290	2	1.0%
当期純利益	139	245	105	76.0%

個別業績予想

(単位:百万円)

	前期実績 (2011年2月期)	当期予想 (2012年2月期)	予想増減額	予想増減率
売上高	5,571	5,700	128	2.3%
営業利益	132	135	2	2.2%
経常利益	142	155	12	8.7%
当期純利益	55	153	97	177.2%